

みどり保全創造事業費会計 (特別会計)

■ 基金及び特別会計について

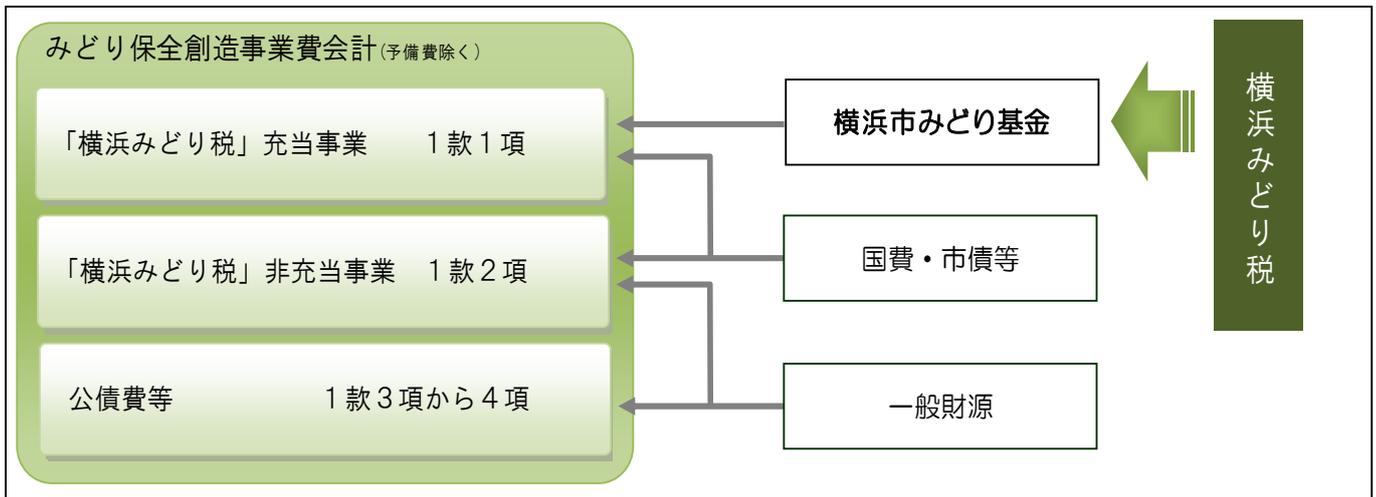
基金（横浜市みどり基金）

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使いみちは横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。

特別会計（みどり保全創造事業費会計）

横浜みどり税の使途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業（既存事業等）を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の使途を明確にします。

■ みどり保全創造事業費会計（特別会計）の財源について



■ みどり税の使途

横浜みどり税の使途は、次の4項目に整理しています。

- ・ 樹林地・農地の確実な担保
- ・ 身近な緑化の推進
- ・ 維持管理の充実による緑の質の向上
- ・ ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

＜みどり保全創造事業費会計予算案総括表＞

(歳出)

区 分	本年度	前年度	増△減	増減率
	千円	千円	千円	%
1款 みどり保全創造事業費	12,682,845	12,565,288	117,557	0.9
1項 みどり保全創造事業費	5,900,837	6,018,553	△ 117,716	△ 2.0
1目 樹林地保全創造費	4,404,030	4,029,856	374,174	9.3
2目 都市農地保全費	351,795	549,890	△ 198,095	△ 36.0
3目 緑化推進創造費	1,145,012	1,438,807	△ 293,795	△ 20.4
2項 みどり保全事業費	5,097,011	4,960,307	136,704	2.8
1目 樹林地保全費	4,083,435	4,079,678	3,757	0.1
2目 都市農業育成費	266,242	241,648	24,594	10.2
3目 緑化推進費	730,934	621,181	109,753	17.7
4目 広報推進費	16,400	17,800	△ 1,400	△ 7.9
3項 基金積立金	1,000	1,000	0	0.0
1目 みどり基金積立金	1,000	1,000	0	0.0
4項 公債費	1,682,997	1,584,428	98,569	6.2
1目 元金	1,449,983	1,340,441	109,542	8.2
2目 利子	211,264	230,713	△ 19,449	△ 8.4
3目 公債諸費	21,750	13,274	8,476	63.9
5項 予備費	1,000	1,000	0	0.0
1目 予備費	1,000	1,000	0	0.0
計	12,682,845	12,565,288	117,557	0.9

(歳入)

区 分	本年度	前年度	増△減	増減率
	千円	千円	千円	%
1款 使用料及び手数料	1,797	1,247	550	44.1
2款 国庫支出金	2,060,000	1,988,640	71,360	3.6
3款 県支出金	145	145	0	0.0
4款 財産収入	1,000	1,000	0	0.0
5款 寄附金	1	1	0	0.0
6款 繰入金	6,312,426	6,000,246	312,180	5.2
一般会計繰入金	3,267,929	3,152,273	115,656	3.7
みどり基金繰入金	3,044,497	2,847,973	196,524	6.9
7款 諸収入	11,476	9,009	2,467	27.4
8款 市債	4,296,000	4,565,000	△ 269,000	△ 5.9
計	12,682,845	12,565,288	117,557	0.9

■ 横浜みどりアップ計画[2019-2023]の推進

「横浜みどり税」を財源の一部に活用し、3期目となる「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」を推進しています。引き続き、緑の保全是もとより、ガーデンシティ横浜の推進や市民が実感できる緑の創出など、目標に向けて精力的に取り組めます。

■ 事業費一覧(公債費等を除く)

(単位：百万円)

事業と取組	主な取組内容と事業量	総額	みどり税充当		みどり税
			事業費	(内みどり税)	非充当
			事業費	(内みどり税)	事業費
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む		8,488	4,404	(1,839)	4,084
①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業		7,673	3,794	(1,229)	3,879
緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	樹林地の新規指定：60ha 樹林地の買取：23.0ha	7,673	3,794	(1,229)	3,879
②良好な森の育成事業		720	559	(559)	161
森の多様な機能に着目した森づくりの推進	森の維持管理：推進	614	453	(453)	161
指定した樹林地における維持管理の支援	維持管理の助成：100件	106	106	(106)	0
③森を育む人材の育成事業		26	25	(25)	1
森づくりを担う人材の育成	森づくりを担う人材の育成：推進 広報誌等での森づくり活動に関する情報発信：4回	14	14	(14)	0
森づくり活動団体への支援	森づくり活動団体への支援：30団体 森づくり活動団体への専門家派遣：4団体 チップー貸出し：推進	12	11	(11)	1
④市民が森に関わるきっかけづくり事業		69	26	(26)	43
森の楽しみづくり	市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施：36回	20	20	(20)	0
森に関する情報発信	ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等：10回	49	6	(6)	43
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる		618	352	(140)	266
①良好な農景観の保全事業		244	95	(95)	149
水田の保全	水田保全承認面積：125ha 水源・水路の確保：2箇所	93	38	(38)	55
特定農業用施設保全契約の締結	制度運用	2	0	(0)	2
農景観を良好に維持する活動の支援	集団農地維持面積：690ha 農地縁辺部への植栽：11件 井戸の改修：1か所 土砂流出防止対策：3件 牧草等による環境対策：4ha たい肥化設備等の支援：5件	115	22	(22)	92
多様な主体による農地の利用促進	遊休農地の復元支援：0.3ha	35	35	(35)	0
②農とふれあう場づくり事業		293	257	(45)	35
様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設：3.5ha 【内訳】 収穫体験農園：1.5ha 市民農園：2.0ha 農園付公園：0.0ha	272	257	(45)	14
市民が農を楽しむ支援する取組の推進	横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施：90回 市民農業大学講座：20回 農体験学習講座の開催：6回	21	0	(0)	21

(単位：百万円)

事業と取組	主な取組内容と事業量	総額	みどり税充当		みどり税 非充当
			事業費	(内みどり税)	事業費
③身近に農を感じる地産地消の推進事業		65	0	(0)	65
地産地消にふれる機会の拡大	直売所・青空市等の支援：57件 緑化用苗木の配布：25,000本 情報発信・PR活動（情報誌などの発行）：6回	65	0	(0)	65
④市民や企業と連携した地産地消の展開事業		17	0	(0)	17
地産地消を広げる人材の育成	はまふうどコンシェルジュの活動支援等：30件 地産地消ネットワーク交流会の開催：1回	5	0	(0)	5
市民や企業等との連携	市民や企業等との連携：10件 学校給食での市内産農産物の一斉供給：推進 料理コンクールの開催：1回	12	0	(0)	12
取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる		1,876	1,145	(1,065)	731
①まちなかでの緑の創出・育成事業		885	738	(658)	147
公共施設・公有地での緑の創出・育成	緑の創出：7件 緑の維持管理：推進	138	0	(0)	138
街路樹による良好な景観の創出・育成	並木の再生：2路線 空き樹の補植：推進 良好な維持管理：18区で推進	582	582	(582)	0
シンボリックな緑の創出・育成	公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理：推進 公開性のある緑空間の創出支援：推進	145	141	(61)	4
建築物緑化保全契約の締結	制度運用	1	0	(0)	1
名木古木の保存	推進	19	15	(15)	4
②市民や企業と連携した緑のまちづくり事業		143	79	(79)	64
地域緑のまちづくり	新規：6地区	76	76	(76)	0
地域に根差した緑や花の楽しみづくり	緑や花を身近に感じる各区の取組：18区で推進	55	0	(0)	55
人生記念樹の配布	8,000本配布	12	3	(3)	9
③子どもを育む空間での緑の創出・育成事業		79	15	(15)	65
保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	緑の創出：20か所 緑の維持管理：推進	79	15	(15)	65
④緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業		768	313	(313)	455
都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	緑花による空間づくりと維持管理：推進	768	313	(313)	455
効果的な広報の展開		16	0	(0)	16
①市民の理解を広げる広報の展開事業		16	0	(0)	16
—	—	16	0	(0)	16
総計		10,998	5,901	(3,043)	5,097

※四捨五入の関係により、合計が一致しないことがあります。

債務負担行為

新たに債務負担行為をするもの

事 項	期 間	限 度 額
緑地施設修繕工事 請負契約の締結に係る 予算外義務負担	令和3年度	限度額 2,000千円

事 業 内 容

(1)	樹林地保全創造費 (横浜みどり税 充当) 1款1項1目	
	本 年 度	千円 4,404,030
	前 年 度	4,029,856
	差 引	374,174
財 源 内 訳	国・県	925,340
	市 債	1,640,000
	その他	0
	基金繰入	1,838,690
	一般繰入	—

まとまりのある緑の空間は、都市の骨格をつくり、クールスポットであると同時に生物生息の場でもあります。また、洪水抑制や避難場所になるなどグリーンインフラとして防災・減災にも役立ちます。さらには、樹林地や農地が一体となって横浜らしく美しい景観を形成している地域も存在します。

これらを次世代に引き継いでいくため、森のもつ多様な役割に配慮しながら、土地の所有者や地域住民など、市民・事業者とともにその保全や育成をより一層進めます。

緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り、市民の森等や都市公園内のまとまった樹林を対象とした保全管理計画に基づく森づくりの推進、緑地保全制度により指定された樹林地における維持管理の支援、森に関するイベントや講座の実施などを行います。

1 樹林地の確実な保全の推進 3,794,380 千円

(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業 3,794,380 千円

市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。

横浜みどりアップ計画による地区指定の拡大に伴い、増加する買取りに対応します。

- ・新規指定面積：60ha（1款2項1目と合わせた面積）
- ・買取見込面積：11ha（1款2項1目：12ha、計23ha）
- ・保全した樹林地の整備（初期整備、樹林地の施設改良、法面の安全対策）

2 良好な森を育成する取組の推進 583,650 千円

(1) 良好な森の育成事業 558,650 千円

ア 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 452,650 千円

市民の森、ふれあいの樹林、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。森づくりにあたっては、地域の特性等を踏まえて策定した管理計画に沿って、愛護会など多様な主体と連携しながら実施します。

- ・森の維持管理

イ 指定した樹林地における維持管理の支援 106,000 千円

土地所有者の維持管理負担を軽減し、樹林地の安全性の向上などを図るため、緑地保全制度により指定した樹林地の外周部で土地所有者が行う危険・支障樹木のせん定・伐採や草刈りなどの維持管理作業に加えて、樹林地内部の倒木や枯れ木の撤去処分、不法投棄防止のためのフェンス設置、簡易土留めの設置などの費用の一部を助成します。これにより、緑地保全制度による指定を推進します。

- ・維持管理の助成：100件

(2) 森を育む人材の育成事業	25,000 千円
ア 森づくりを担う人材の育成	13,750 千円
<p>森づくりボランティアの登録者や森づくり活動に取り組む団体を対象に、基本的な知識と安全確保を学ぶための研修や、活動のスキルアップのための研修を開催します。</p> <p>また、ニューズレターやウェブサイトを活用し、森づくりに関する情報発信を行うほか、森づくり活動体験会を開催し、市民が参加しやすい森づくり活動を推進します。</p>	
イ 森づくり活動団体への支援	11,250 千円
<p>市民の森や都市公園内のまとまった樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成や、専門家派遣による支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森づくり活動団体への支援：30 団体 ・ チッパーの貸出しと間伐材を活用した樹名板作成 	
3 森と市民とをつなげる取組の推進	26,000 千円
(1) 市民が森に関わるきっかけづくり事業	26,000 千円
ア 森の楽しみづくり	20,000 千円
<p>・ 市内大学や企業との協働による「よこはま森の楽校（がっこう）」、図書館との連携による「森の中のプレイパーク」等を実施します。また、各区での催し等において、森に関わるきっかけとなり環境を学ぶ機会にもなるイベントや広報の取組を展開します。特に、森に関わる第一歩となるような、親子で参加できるイベントの充実などに取り組みます。</p> <p> イベントの実施及び広報活動：36 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座などを開催します。 	
イ 森に関する情報発信	6,000 千円
<p>市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。</p>	

事 業 内 容

(2) 都市農地保全費
(横浜みどり税 充当)
1 款 1 項 2 目

都市に潤いをもたらす横浜の農景観を保全し、次世代に引き継いでいくことが求められています。また、市民農園で自ら農作物を栽培するなど「農とのふれあい」への市民ニーズが高まっています。

そこで、景観形成や生物多様性の保全、雨水貯留などのグリーンインフラとしての農地が持つ環境面での役割に着目した「良好な農景観の保全」や、「農とふれあう場づくり」を重点的に展開し、市民が身近に農を感じる場をつくります。

本 年 度	千円 351,795	
前 年 度	549,890	
差 引	△198,095	
財 源 内 訳	国・県	—
	市 債	212,000
	その他	—
	基金繰入	139,795
	一般繰入	—

1 農に親しむ取組の推進 351,795 千円

(1) 良好な農景観の保全事業 94,720 千円

ア 水田の保全 37,900 千円

土地所有者が水田を維持し、水田景観の保全や多様な機能が発揮できるよう、水稲作付を 10 年間継続することを条件に奨励金を交付します。

- ・水田保全承認面積：125ha

イ 農景観を良好に維持する活動の支援 22,280 千円

- ・農地周辺の不法投棄対策として、夜間警備のパトロール等を実施します。

夜間警備パトロール：234 日

- ・牧草等の栽培を奨励し、農地からの土ぼこりの発生防止を図ります。

牧草栽培奨励：4ha

- ・せん定枝の堆肥化に必要な共同利用設備等の整備を支援します。

せん定枝堆肥化設備等の支援：5 件

ウ 多様な主体による農地の利用促進 34,540 千円

意欲ある農家や新規参入者など多様な主体へ農地を貸し付けて、農地の保全につながるように、6 年間以上の貸借設定をしている農地所有者に奨励金を交付します。また、遊休化している農地を復元する際に、土地所有者等に対して補助金を交付します。

- ・遊休農地の復元：0.3ha

- ・農地の長期貸付により保全されている農地：68.0ha

(2) 農とふれあう場づくり事業

257,075 千円

ア 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

257,075 千円

- ・野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験することができる収穫体験農園の開設に必要な施設整備等を支援します。

収穫体験農園の開設支援：1.5ha

- ・土地所有者による維持管理が難しくなった農地等を、市が買い取るなどして、市民が農作業を楽しめる農園を主とした都市公園を整備します。

農園付公園の設計、工事等面積：4.3ha

なお、従来から実施している、利用者が農家から指導を受けることができる「栽培収穫体験ファーム（0.2ha）」や、児童が農家から野菜や米づくりを学ぶ「環境学習農園（0.2ha）」、また、利用者が自由に農作業を楽しめる「認定市民菜園（1.6ha）」などの多様な市民農園の開設の支援については、1 款 2 項 2 目の都市農業育成費（横浜みどり税非充当事業）で対応します。

※認定市民菜園とは、従来の特区農園のこと。

事 業 内 容

(3)	緑化推進創造費 (横浜みどり税 充当) 1款1項3目		<p>都市の緑は、市民に潤いや安らぎをもたらすほか、街の良好な景観形成や賑わい創出、生き物の生息・生育空間となるなどの重要な役割を果たし、都市の魅力を高めます。そうした緑があふれる都市で暮らす豊かさを市民が「実感」できるよう、取組を推進します。</p> <p>市民が目にする機会の多い街路樹を良好に育成するための取組や、多くの市民の目にふれる場所でシンボリックな緑の創出に取り組みます。</p> <p>また、地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組を市民協働により取り組むほか、小中学校・保育園・幼稚園（民間）など子どもを育む空間では、ニーズに合わせた多様な緑の創出を支援します。</p> <p>都心臨海部等においては、公共空間を中心に緑や花による魅力・賑わいの創出などにより、実感できる質の高い緑を創出します。</p>
	本 年 度	千円 1,145,012	
	前 年 度	1,438,807	
	差 引	△293,795	
財 源 内 訳	国・県	0	
	市 債	80,000	
	その他	-	
	基金繰入	1,065,012	
	一般繰入	-	

1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進 738,000 千円

(1) まちなかでの緑の創出・育成事業 738,000 千円

ア 街路樹による良好な景観の創出・育成 582,000 千円

街路樹の再生として、老木化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生や空いている植栽枠への補植など、街路樹による良好な景観づくりを進めます。

街路樹の良好な維持管理として、駅周辺や各区の主要な路線など、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。

イ シンボリックな緑の創出・育成 141,200 千円

- ・公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成として、多くの市民の目に触れる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出することで、街の魅力や賑わいづくりにつなげます。また、花畑や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースが、所有者の不測の事態等により、存続が困難となった場合に用地を取得し、緑や花による地域のシンボリックな空間として保全します。

- ・公開性のある緑空間の創出支援として、駅前や都心部など多くの人を訪れる公開性のあるオープンスペースにおいて、地面や屋上、壁面などに緑化を行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。

ウ 名木古木の保存 14,800 千円

地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。また、指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。

2 緑や花に親しむ取組の推進	407,012 千円
(1) 市民や企業と連携した緑のまちづくり事業	79,462 千円
ア 地域緑のまちづくり	76,462 千円
<p>地域が主体となり、住宅街や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。</p> <p>2年度に協定を締結する新規地区について、地域緑化計画を公募し、計画作りの支援を行います。また、元年度までに地域緑化計画を策定した地区については、継続して緑化整備や維持管理活動等への支援を行います。</p> <p>地域緑化推進事業：17 地区（地域緑化計画策定数：59 地区）</p>	
イ 人生記念樹の配布	3,000 千円
<p>民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目（出生、保育園・幼稚園入園、小学校入学、成人、就職、結婚、金婚・銀婚、賀寿、新市民（市外からの転入）、住居の新築・購入・増改築）の記念に希望した市民に苗木を無料配布します。</p> <p>苗木の配布：8,000 本</p>	
(2) 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業	14,500 千円
ア 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	14,500 千円
<p>民間の保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化に加え、花壇づくり、屋上や壁面の緑化、ビオトープ整備など、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。また、芝生等の維持管理に対する支援を行うとともに、花育等緑化に関する技術支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑の創出（民間）：10 か所（1 款 2 項 3 目で公立保育園、小中学校 10 か所、計 20 か所） ・芝生等の維持管理に対する支援 	
(3) 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業	313,050 千円
ア 都心臨海部等の^{りょくか}緑花による魅力ある空間づくり	313,050 千円
<p>みなとみらい 21 地区などの都心臨海部や多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。</p> <p>あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます</p>	

事 業 内 容

(4)	樹林地保全費 (横浜みどり税 非充当) 1款2項1目		
本 年 度	千円 4,083,435		まとまりのある緑の空間は、都市の骨格をつくり、クールスポットであると同時に生物生息の場でもあります。また、洪水抑制や避難場所になるなどグリーンインフラとして防災・減災にも役立ちます。さらには、樹林地や農地が一体となって横浜らしく美しい景観を形成している地域も存在します。 これらを次世代に引き継いでいくため、森のもつ多様な役割に配慮しながら、土地の所有者や地域住民など、市民・事業者とともにその保全や育成をより一層進めます。 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り、市民の森等を対象とした保全管理計画に基づく森づくりの推進、ウェルカムセンターを活用した森に関する情報発信などを行います。
前 年 度	4,079,678		
差 引	3,757		
財 源 内 訳	国・県	1,134,660	
	市 債	2,364,000	
	その他	6,688	
	基金繰入	-	
	一般繰入	577,942	

1 樹林地の確実な保全の推進 3,878,763 千円

(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業 3,878,763 千円

市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。

また、市民の森、緑地保存地区などの土地所有者に対し、緑地保存のための奨励金等を交付します。

- ・新規指定面積：60ha（1款1項1目と合わせた面積）
- ・買取見込面積：12ha（1款1項1目：11ha、計23ha）
- ・保全した樹林地の整備（初期整備、樹林地の施設改良、法面の安全対策）
- ・緑地保存奨励

2 良好な森を育成する取組の推進 161,932 千円

(1) 良好な森の育成事業 160,932 千円

ア 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 160,932 千円

市民の森、ふれあいの樹林、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。森づくりにあたっては、地域の特性等を踏まえて策定した管理計画に沿って、愛護会など多様な主体と連携しながら実施します。

(2) 森を育む人材の育成事業 1,000 千円

ア 森づくり活動団体への支援 1,000 千円

維持管理作業の際に発生した間伐材などを有効活用するための研修を実施します。

3 森と市民とをつなげる取組の推進	42,740 千円
(1) 市民が森に関わるきっかけづくり事業	42,740 千円
ア 森に関する情報発信	42,740 千円

ウェルカムセンターにおける展示解説や自然体験、環境学習の機会の提供等を、企業の CSR 活動などと連携しながら実施し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等：10 回

ウェルカムセンター 5 館

- ・自然観察センター（横浜自然観察の森）〈栄区〉
- ・にいほる里山交流センター（新治里山公園）〈緑区〉
- ・虹の家（舞岡ふるさと村）〈戸塚区〉
- ・四季の家（寺家ふるさと村）〈青葉区〉
- ・環境活動支援センター 交流スペース〈保土ヶ谷区〉

事 業 内 容

(5)	都市農業育成費 (横浜みどり税 非充当) 1款2項2目	<p>新鮮で安心な農畜産物の生産のほか、グリーンインフラとしての雨水貯留・浸透等の役割や、レクリエーションなど、多様で公益的な機能を持つ農地を将来にわたって保全するための取組を進めます。</p> <p>また、身近な場所に農地がある横浜の都市農業の特徴を生かし、新鮮な農畜産物を購入できる直売所の開設支援等を通じた地産地消にふれる機会を拡大します。さらに、企業との連携等による6次産業化の推進、人材の育成や市民や企業等の多様な主体が連携した農のプラットフォームの充実、「横浜農場」を活用したプロモーションを進めることなどにより、地産地消を推進します。</p>
本 年 度	千円 266,242	
前 年 度	241,648	
差 引	24,594	
財 源 内 訳	国・県	—
	市 債	—
	その他	6,586
	基金繰入	—
	一般繰入	259,656

1 農に親しむ取組の推進 184,658 千円

(1) 良好な農景観の保全事業 149,222 千円

ア 水田の保全 55,010 千円

良好な水田景観を保全するために必要な水源・水路を確保するため、まとまりのある水田がある地区を対象に、井戸や水路等の設置・改修を支援します。

- ・水源・水路の確保：2か所

イ 特定農業用施設保全契約の締結 1,895 千円

農家と横浜市が「所有農地等を10年間適正に管理すること」と「農業生産に不可欠な農業用施設を10年間継続して利用すること」を契約して、当該施設の敷地を「特定農業用施設用地」に指定し、固定資産税・都市計画税を軽減することで、農地の保全を図ります。

ウ 農景観を良好に維持する取組の支援 92,317 千円

良好な農景観を形成するため、水路等での清掃活動や農地縁辺部への植栽、水源の確保のための井戸の改修などに対して支援します。また、農地周辺の環境を良好に維持するため、土砂流出を防止する活動に対する支援や農地周辺の不法投棄対策を進めます。

また、下水道事業と連携し、農地が持つ保水・浸透機能の向上を図るグリーンインフラの取組を進めます。

- ・良好に維持されている農地の面積：690ha
- ・農地縁辺部への植栽：11件
- ・土砂流出防止対策：3か所
- ・農景観保全のための井戸の改修への支援：2か所

(2) 農とふれあう場づくり事業 35,436 千円

ア 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 14,476 千円

利用者が農家から指導を受けることができる「栽培収穫体験ファーム」や、児童が農家から野菜や米づくりを学ぶ「環境学習農園」、また、利用者が自由に農作業を楽しめる「認定市民菜園」など、多様な市民農園の開設を支援します。

・市民農園の開設支援：2.0ha

＜内訳＞栽培収穫体験ファーム：0.2ha、環境学習農園：0.2ha、
認定市民菜園：1.6ha

※認定市民菜園とは、従来の特区農園のこと。

なお、市民の皆様が、野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験する「収穫体験農園（1.5ha）」や、「農園付公園（4.3ha）」は、1款1項2目の都市農地保全費（横浜みどり税充当事業）で対応します。

イ 市民が農を楽しみ支援する取組の推進 20,960 千円

・「横浜ふるさと村」や「恵みの里」での農業教室等の開催等の取組を推進します。
農業教室などの実施：90回

・農家と地域住民が協定を締結し、地域の農環境の保全を図る活動を進めます。
活動支援：2地区

・市民農業大学講座や体験学習講座を開催し、市民が栽培技術などを学ぶ場を提供します。

市民農業大学講座の開催：「野菜・果樹コース」1年次20回、2年次10回
：「花・緑コース」1年次20回

体験学習講座の開催：6回

2 地産地消の推進 81,584 千円

(1) 身近に農を感じる地産地消の推進事業 64,884 千円

ア 地産地消にふれる機会の拡大 64,884 千円

・直売所や加工所に必要な設備の導入や運営を支援します。また、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市やマルシェの開催等を支援します。

直売所等の支援：17件、青空市・マルシェ等の開催支援：40件

・市内産の苗木や花苗を市民への配布や公共施設、農地の縁辺部への植栽に活用し、市民が市内産の植木や草花に親しめる機会を創出します。

緑化用植物の生産・配布：25,000本

・情報誌などの制作・発行や地産地消に関する区局等での取組支援、横浜の農をPRするイベントの実施など、市民が地産地消を身近に感じられる取組を推進します。

・横浜の農の魅力を発信するため、「横浜農場」を活用したプロモーションを行います。

(2) 市民や企業と連携した地産地消の展開事業	16,700 千円
ア 地産地消を広げる人材の育成	5,000 千円
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュの育成講座を開催します。あわせて、コンシェルジュの活動を支援します。 	
はまふうどコンシェルジュ活動支援等：30 件	
<ul style="list-style-type: none"> ・農のプラットフォームの充実に向け、直売を行う生産者やよこはま地産地消サポート店、はまふうどコンシェルジュ、地産地消に取り組む市民・企業等をつなげる交流会等を開催します。 	
地産地消ネットワーク交流会の開催：1 回	
イ 市民や企業等との連携	11,700 千円
<ul style="list-style-type: none"> ・生産者や企業等のニーズを集約し、両者のニーズをマッチングすることで、地産地消を広げます。 	
市民や企業等との連携：10 件	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の中小企業等を対象に、地産地消に関するビジネスプランを策定するための講座を開催します。また、令和元年度に選定される事業の開始に係る経費の補助を実施します。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の給食メニューにおける市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業等と連携して学校給食での市内産農産物の一斉供給や小学生を対象とした料理コンクールを開催します。 	
料理コンクールの開催：1 回	

事業内容

(6)	緑化推進費 (横浜みどり税 非充当) 1款2項3目		<p>都市の緑は、市民に潤いや安らぎをもたらすほか、街の良好な景観形成や賑わい創出、生き物の生息・生育空間となるなどの重要な役割を果たし、都市の魅力を高めます。そうした緑があふれる都市で暮らす豊かさを、市民が「実感」できるよう、取組を推進します。</p> <p>公有地においては、多くの市民が利用する公共施設から率先して、質の高い緑を創出し、民有地においては、多くの市民の目にふれる場所でシンボリックな緑の創出に取り組みます。</p> <p>また、市民の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進するほか、小中学校・保育園（公立）など子どもを育む空間では、ニーズに合わせた多様な緑の創出を支援します。</p> <p>都心臨海部等においては、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。</p>
	本年度	千円 730,934	
	前年度	621,181	
	差引	109,753	
財源内訳	国・県	-	
	市債	-	
	その他	-	
	基金繰入	-	
	一般繰入	730,934	

- | | |
|---|-------------------|
| 1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進 | 147,055 千円 |
| (1) まちなかでの緑の創出・育成事業 | 147,055 千円 |
| ア 公共施設・公有地での緑の創出・育成 | 138,000 千円 |
| 各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。
また、充実を図った公共施設・公有地の緑を良好に維持管理します。 | |
| イ シンボリックな緑の創出・育成 | 4,205 千円 |
| 多くの人を訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。 | |
| ウ 建築物緑化保全契約の締結 | 1,000 千円 |
| 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物所有者（管理者）の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。 | |
| エ 名木古木の保存 | 3,850 千円 |
| 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。また、指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。 | |

2 緑や花に親しむ取組の推進	583,879 千円
(1) 市民や企業と連携した緑のまちづくり事業	63,680 千円
ア 地域に根差した緑や花の楽しみづくり	55,000 千円
<p>緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や公園等での地域の花いっぱいにつながる取組を推進します。</p>	
イ 人生記念樹の配布	8,680 千円
<p>民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目（出生、保育園・幼稚園入園、小学校入学、成人、就職、結婚、金婚・銀婚、賀寿、新市民（市外からの転入）、住居の新築・購入・増改築）の記念に希望した市民に苗木を無料配布します。</p> <p>苗木の配布：8,000 本</p>	
(2) 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業	64,999 千円
ア 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	64,999 千円
<p>公立の保育園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化に加え、花壇づくり、屋上や壁面の緑化、ビオトープ整備など、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。また、芝生等の維持管理に対する支援を行うとともに、花育等緑化に関する技術支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑の創出（公立）：10 か所（1 款 1 項 3 目で民間保育園、幼稚園、小中学校 10 か所、計 20 か所） ・芝生等の維持管理に対する支援 	
(3) 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業	455,200 千円
ア 都心臨海部等の ^{りょくか} 緑花による魅力ある空間づくり	455,200 千円
<p>みなとみらい 21 地区などの都心臨海部や、第 33 回全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。また、こども自然公園などの都市公園において、桜などの花木による花の名所づくりを進めます。</p> <p>あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。</p>	

事 業 内 容

(7)

広報推進費
(横浜みどり税 非充当)
1款2項4目

横浜みどりアップ計画と横浜みどり税の内容及び取組実績を市民の皆様にご存知いただき、理解を深めていただけるよう積極的な広報を展開します。また、緑に関する活動に参加するきっかけとなる機会を提供し、その効果を実感していただけるよう取り組みます。

幅広い世代の方への周知に効果の高い広報よこはまをはじめとして、マスコットキャラクターやイベントなど、様々な媒体・手法を用いて、取組内容や実績をお知らせします。さらに、多くの皆さまが訪れるガーデンネックレス横浜のプロモーションの取組とも連携しながら、効果的な広報を進めていきます。

本 年 度	千円 16,400	
前 年 度	17,800	
差 引	△1,400	
財 源 内 訳	国・県	—
	市 債	—
	その他	—
	基金繰入	—
	一般繰入	16,400

1 市民の理解を広げる広報の展開事業

16,400 千円

横浜みどりアップ計画の取組と横浜みどり税について、各種メディア等を活用した広報を積極的に行います。

- ・ 広報よこはま等の広報紙への記事掲載
- ・ 実績概要の作成、自治会町内会での回覧、公共施設等への配架
- ・ ガーデンネックレス横浜と連携した広報の推進
- ・ 広告、動画等各種メディアを活用した広報
- ・ 事業実施箇所での表示
- ・ イベントへの出展、広報
- ・ マスコットキャラクターを活用した広報
- ・ 市民認知度の調査

(8)	みどり基金積立金 1款3項1目		<u>事業内容</u>	
本年度		千円 1,000	1 みどり基金積立金 1,000 千円 横浜市みどり基金の運用から生ずる収益を基金に積み立てます。	
前年度		1,000		
差引		0		
財源内訳	国・県			—
	市債			—
	その他		1,000	
	基金繰入		—	
	一般繰入		—	
(9)	元金 1款4項1目		<u>事業内容</u>	
本年度		千円 1,449,983	1 市債金会計繰出金 1,449,983 千円 みどり保全創造事業のために発行した市債の元金を市債金会計に繰り出します。	
前年度		1,340,441		
差引		109,542		
財源内訳	国・県			—
	市債			—
	その他		—	
	基金繰入		—	
	一般繰入		1,449,983	
(10)	利子 1款4項2目		<u>事業内容</u>	
本年度		千円 211,264	1 市債金会計繰出金 211,264 千円 みどり保全創造事業のために発行した市債の利子を市債金会計に繰り出します。	
前年度		230,713		
差引		△19,449		
財源内訳	国・県			—
	市債			—
	その他		—	
	基金繰入		—	
	一般繰入		211,264	

(11)	公債諸費 1款4項3目		<u>事業内容</u>	
本年度		千円 21,750	1 市債金会計繰出金	21,750 千円
前年度		13,274	みどり保全創造事業のために発行した市債の発行手数料等を市債金会計に繰り出します。	
差引		8,476		
財源内訳	国・県			—
	市債			—
	その他			—
	基金繰入			—
	一般繰入		21,750	
(12)	予備費 1款5項1目		<u>事業内容</u>	
本年度		千円 1,000	1 予備費	1,000 千円
前年度		1,000	みどり保全創造事業費会計の予備費を計上します。	
差引		—		
財源内訳	国・県			—
	市債			—
	その他			—
	基金繰入		1,000	
	一般繰入		—	